



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 THEグローバル社

コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永嶋 秀和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	5,810	△21.9	△143	—	△221	—	△152	—
26年6月期第1四半期	7,434	64.9	230	△44.4	98	△69.0	51	△71.9

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △146百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 51百万円 (△71.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△11.62	—
26年6月期第1四半期	3.96	3.71

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年6月期第1四半期	24,275	—	5,518	—	22.4	413.86
26年6月期	26,131	—	5,861	—	22.1	440.85

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 5,443百万円 26年6月期 5,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,884	△7.7	△114	—	△309	—	△213	—	△16.25
通期	33,896	△9.6	1,542	△35.5	1,168	△35.5	705	△32.4	53.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	13,153,000 株	26年6月期	13,125,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	76 株	26年6月期	76 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	13,134,358 株	26年6月期1Q	13,022,124 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中でありま

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費増税の駆け込み需要の反動長期化や海外景気の下振れなど景気を下押しするリスクがあるものの、雇用・所得環境の改善が続いたことや各種政策の効果もあって緩やかに回復しており、先行きについても、引き続き緩やかに回復していくことが予想されます。

当社グループが属する不動産業界におきましては、地価の上昇や建築費の高騰を受け、住宅の新築着工戸数は前年同月比で減少傾向にあります。また消費増税の駆け込み需要の反動を受け、一時的に分譲住宅の契約率が低下するなどの影響も見られましたが、株式会社不動産経済研究所調査によると、平成26年9月の首都圏新築分譲マンションの契約率については、71.6%と前月の69.6%から好不調の目安になる70%台に回復し、また同月の首都圏の建売住宅の月間契約率も、前月に比べ8.0ポイントアップし45.1%となるなど、緩やかな回復も見せております。

このような環境下、当社グループにおきましては、マンション事業と戸建事業を事業の二本柱として事業拡大を図り、多様化するお客様ニーズに対応したデザイン性の高い高品質な家づくりに注力いたしました。

マンション事業におきましては、当社メインブランドである「ウィルローズ」シリーズの販売が順調に推移しております。

戸建事業におきましては、注文住宅と建売住宅の間をターゲットとした、「HOUSTYLE(ハウスタイル)」の販売が軌道にのり、請負事業拡大のためのショールームの開設準備も順調に進んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,810百万円(前年同四半期比21.9%減)、営業損失は143百万円(前年同四半期は営業利益230百万円)、経常損失は221百万円(前年同四半期は経常利益98百万円)、四半期純損失は152百万円(前年同四半期は純利益51百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

なお、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ラ・青葉台-コルティエーレ」、「ウィルローズ蔵」、「ウィルローズさいたま新都心」、「ウィルローズ上北沢」等、合計63戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高2,816百万円(前年同四半期比20.1%減)、営業利益74百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「大田区中央2期プロジェクト」、「練馬区豊玉南プロジェクト」、「相模原市中央区矢部プロジェクト」、「入間市狭山台プロジェクト」等、合計80戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高2,767百万円(前年同四半期比20.4%減)、営業損失56百万円(前年同四半期は営業利益205百万円)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理及び仲介を行い、東京都区部13物件62戸、東京都下1物件1戸、神奈川県で1物件48戸、埼玉県で4物件9戸、合計19物件120戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高214百万円(前年同四半期比54.8%減)、営業損失46百万円(前年同四半期は営業利益245百万円)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、マンション管理が順調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高86百万円(前年同四半期比23.2%増)、営業利益13百万円(前年同四半期比14.6%増)となりました。

[その他]

その他におきましては、賃貸用不動産から賃料収入を確保しております。

以上の結果、当セグメントの売上高37百万円(前年同四半期比15.6%増)、営業利益22百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,856百万円減少し、24,275百万円となりました。負債については前連結会計年度末から1,513百万円減少し、18,756百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から342百万円減少し、5,518百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な要因については、現金及び預金が2,461百万円減少、仕掛販売用不動産が1,729百万円減少、及び販売用不動産が2,044百万円増加したことによるものであります。

負債の主な要因については、新規物件の取得に伴い有利子負債が150百万円増加、買掛金が571百万円減少、及び未払法人税等が777百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な要因としては、利益剰余金が349百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の連結業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表した数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,470,000	2,008,321
売掛金	5,544	60,959
完成工事未収入金	158,284	139,283
販売用不動産	4,456,055	6,500,339
仕掛販売用不動産	14,932,008	13,202,135
前払費用	788,689	522,009
繰延税金資産	213,749	318,913
その他	168,821	318,856
流動資産合計	25,193,153	23,070,819
固定資産		
有形固定資産	526,888	570,789
無形固定資産	19,607	23,027
投資その他の資産		
投資有価証券	76,706	285,125
破産更生債権等	132,929	132,849
その他	324,388	334,709
貸倒引当金	△141,929	△141,849
投資その他の資産合計	392,095	610,835
固定資産合計	938,591	1,204,652
資産合計	26,131,744	24,275,471
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,268,853	1,697,562
短期借入金	2,659,772	3,224,445
1年内返済予定の長期借入金	8,904,190	8,111,950
1年内償還予定の社債	400,000	—
未払金	360,589	317,214
未払法人税等	811,875	34,546
未払消費税等	90,006	21,595
前受金	651,234	632,418
賞与引当金	16,795	65,577
その他	338,342	102,380
流動負債合計	16,501,660	14,207,690
固定負債		
長期借入金	3,708,910	4,486,620
繰延税金負債	6,885	9,620
その他	52,748	52,748
固定負債合計	3,768,544	4,548,989
負債合計	20,270,205	18,756,679

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,226	387,744
資本剰余金	1,333,456	1,333,974
利益剰余金	4,055,727	3,706,188
自己株式	△33	△33
株主資本合計	5,776,377	5,427,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,367	16,828
為替換算調整勘定	△1,591	△1,297
その他の包括利益累計額合計	9,775	15,531
新株予約権	75,386	75,386
純資産合計	5,861,539	5,518,791
負債純資産合計	26,131,744	24,275,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,434,835	5,810,077
売上原価	6,010,790	4,852,677
売上総利益	1,424,045	957,399
販売費及び一般管理費	1,193,306	1,101,133
営業利益又は営業損失(△)	230,738	△143,733
営業外収益		
受取利息	1,034	1,068
受取手数料	3,662	16,858
解約精算金	5,672	300
その他	3,130	7,708
営業外収益合計	13,498	25,934
営業外費用		
支払利息	112,900	85,834
持分法による投資損失	915	990
支払手数料	22,655	16,339
貸倒引当金繰入額	4,500	—
その他	4,809	152
営業外費用合計	145,780	103,317
経常利益又は経常損失(△)	98,457	△221,116
特別損失		
固定資産除却損	5,352	492
ゴルフ会員権評価損	6,476	—
特別損失合計	11,829	492
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	86,628	△221,608
法人税、住民税及び事業税	134,050	34,359
法人税等調整額	△98,928	△103,302
法人税等合計	35,122	△68,943
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	51,505	△152,664
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,505	△152,664

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	51,505	△152,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△305	5,461
為替換算調整勘定	726	△443
持分法適用会社に対する持分相当額	△198	737
その他の包括利益合計	222	5,755
四半期包括利益	51,728	△146,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,728	△146,909

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額 (注) 3
	マンシ ョン事 業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,526,614	3,477,601	328,789	69,444	7,402,449	32,386	7,434,835	—	7,434,835
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	145,538	400	145,939	—	145,939	△145,939	—
計	3,526,614	3,477,601	474,328	69,845	7,548,389	32,386	7,580,775	△145,939	7,434,835
セグメント利益	67,206	205,720	245,426	11,929	530,282	20,156	550,439	△319,701	230,738

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△319,701千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額 (注) 3
	マンシ ョン事 業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,816,485	2,767,634	102,883	85,634	5,772,638	37,439	5,810,077	—	5,810,077
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	111,283	400	111,683	—	111,683	△111,683	—
計	2,816,485	2,767,634	214,166	86,035	5,884,322	37,439	5,921,761	△111,683	5,810,077
セグメント利益 又は損失(△)	74,682	△56,602	△46,799	13,675	△15,044	22,316	7,272	△151,006	△143,733

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△151,006千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。